

教科・科目	理科・「科学と人間生活」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	1	全学科必修修科目

1. 目標と評価規準

目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (20%程度)	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探知しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。		学習状況 提出物等
思考・判断・表現 (20%程度)	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		小テスト 定期考査等
観察・実験の 技能 (20%程度)	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。		観察・実験のレポート 定期考査等
知識・理解 (40%程度)	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		小テスト 定期考査等
使用教材等	教科書：科学と人間生活（啓林館） 副教材：科学と人間生活の学習ノート（啓林館）		

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	序章 科学技術の発展	科学技術の進歩・発展を、情報・通信技術を例にして、人間生活に果たしてきた役割を学ぶ。	電子黒板 書画カメラ パワーポイント 学習用パソコン
	5	第1部 生命の科学 第1章 生物と光 A 植物の生育と光 B ヒトの視覚と光 C 動物の行動と光 章末問題	植物の育成と光、ヒトの視覚と光、動物の行動と光について学び、生物の活動と光との関係を理解する。	
	6			
	7	第2章 微生物とその利用 A 微生物の存在 B 生態系における微生物 C 微生物と人間生活 章末問題	様々な微生物の存在、生態系における微生物のはたらき、微生物と人間生活について学び、微生物が生態系や人間生活とどのようにかかわっているかについて理解する。	
2 学期	9	第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 A 食品の科学 B 衣料の科学 章末問題第	食品、衣料、染料、洗剤などについて学び、その性質や利用の仕方について化学の観点から理解する。	電子黒板 書画カメラ パワーポイント 学習用パソコン
	10	2章 材料とその再利用 A プラスチック B 金属 C セラミックス 章末問題	プラスチック、金属、セラミックスが、それぞれの材料の特徴を生かして、身の回りの様々なところに利用されていることを学び、物質の種類、性質および用途や、資源の再利用について理解する。	
	11	第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 A 光とは何か B 光の性質 C 電磁波とその利用 章末問題	光の性質とその利用、電磁波について学び、どのように利用されているかを学習する。 光の性質とその利用、電磁波について学び、どのように利用されているかを学習する。	
	12	第2章 熱の性質とその利用 A 熱とは何か B エネルギーの利用 章末問題	熱の性質とその利用、エネルギーについて学び、エネルギーの移り変わりなどについて理解する。	
3 学期	1	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 身近な天体と太陽系における地球 A 太陽系の中の地球 B 太陽と人間生活 C 天体の運行と人間生活 章末問題	身近な天体の姿や運行について学び、天体やその運行と人間生活との関係について理解する。 地球の活動と、人間と自然のかかわりを学び、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解する。	電子黒板 書画カメラ パワーポイント 学習用パソコン
	2	第2章 自然景観と自然災害 A 地震による景観と災害 B 火山の景観と災害 C 流水の作用によるけいかんと災害 章末問題		
	3	終章 これからの科学と人間生活	来年度の学習内容の予習	

備考	
----	--